

どんな人も紐解くと、 思ひがけない人生を 生きている。

人を細部から知ると
何が見えてくる?
打越先生、
教えてください。



私は、沖縄の暴走族やヤンキーたちのパシリとして
一緒に働き、飲み明かしながら、行動を共にする
「参与観察」という方法で彼らのことを調べる社会学者です。
その中で、キバカラで働くシングルマザーたちに
話を聞く機会を得ました*。

彼女たちに「なぜこの仕事をしているのですか」と聞くのは
調査のプロとして芸がないので、生活を見て理解を試みます。
彼女たちは朝、子どもを学校や保育園などへ送った後に
仮眠を取り、家事をして、午後から夕食の準備を始めます。
子どもの帰宅を迎えて一緒に夕食を取り、お風呂に入つて
寝かしつけてから出勤します。

日中の仕事のように子どもが学校に行く前に出勤することや、
子どもの帰宅前に帰れず、留守番させることはありません。
またキバカラなら休みの融通もきき、週末の学校行事にも
参加できます。このように、彼女たちは子どもを中心に
生活を作りあげています。そのことを知ると、キバカラで
働く理由が自ずと見えてきます。

最近はやたらと評論家や経営者のような視点で人を
理解しがちです。しかし、生活の背景を見て人を
理解することも、重要かつ魅力的な方法なのです。

人間科学科
講師 打越 正行

* 調査は、上間陽子さん（琉球大学）と共同で実施しました。



ご予約・詳細は
ホームページへ

予約制

和光大学のオープンキャンパス 2022

7/16(土)・8/7(日)・8/20(土)

8月は各学科で
模擬授業を開催!

現代人間学部

表現学部

経済経営学部

小田急線鶴川駅から
徒歩約15分
<https://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる
和光大学